

「自ら学び、確かな学力を身に付ける生徒の育成」

久喜市教育委員会・久喜市立菖蒲中学校

取組の概要

【菖蒲中生に身に付けてほしい力】

様々な社会の変化の中で、自分自身の手で切り拓き、何事も自分たち自身で創っていくことのできる力を身に付けてほしい

【菖蒲中生の現状 (○良い △改善点)】

○行事・部活動など前向きに取り組むこと ○仲間と協力し、取り組むこと
△学習意欲が低く、見通しをもてないこと △仲間と協力し、新しいことを生み出すことが苦手

【仮説①】

主体的に取り組ませる場面を書く授業で設定することで、学習意欲をもたせ、先を見通す力を育むことができるだろう。

【仮説②】

日々の学びから得た知識を基に互いに協働的活動を通していくことは、確かな学力を身に付け、それらを活かし新たなものを創造する力が身に付くだろう。

仮説に基づいた取組

○個人としての取組
生徒自身による学びに関する制度設定

○授業法の見直し
菖蒲スタンダードの確立

学びのサイクル

○個人の変容を捉える
学習課題に対する思考の変化を捉える

○対話的活動の充実
タブレット端末や電子黒板を活用した協働学習

菖蒲中スタンダード

令和3年度 各教科・領域における菖蒲中学習スタンダード

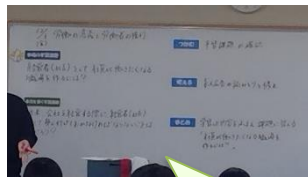
菖蒲中スタンダード

予習
↓
本習
↓
復習

つかむ
↓
考える
↓
学び合う
↓
まとめる
↓
振り返る

単元シラバス

単元を貫く課題



板書もスタンダードに沿って授業の流れを可視化

シラバス (教科・英語)

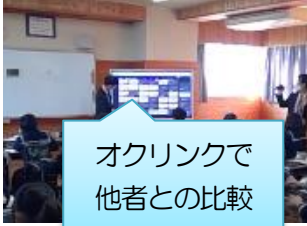
単元	単元目標	単元活動	評価方法
Program 4 High-Tech Nature	【単元の目標】 ○比較級や最高級を使って、「もの比べる」表現ができるようになる。 ○生活物を中心にして作られたものについて調べたり、伝えたりする。	【単元を貫く課題】 『もの比べる』表現 パイオニアズ 【学習キーワード】 比較級 副詞 比較級 最上級 「～ほど～(くらい)」「～ほど～(は)ない」	
第1研修時	①「比べる」の表現について事前学習 ②「比べる」の表現について事前学習	○比較級「より～だ」を使って、自分の考えを伝える。 ○最高級「～だ」を使って、自分の考えを伝える。	ワークシート 口頭発表
第2研修時	③「比べる」の表現について事前学習	○「～ほど～(くらい)」「～ほど～(は)ない」を使って、自分の考えを伝える。	ワークシート 口頭発表
第3研修時	④「比べる」の表現について事前学習	○「～ほど～(くらい)」「～ほど～(は)ない」を使って、自分の考えを伝える。	ワークシート 口頭発表
第4研修時	⑤「比べる」の表現について事前学習	○「～ほど～(くらい)」「～ほど～(は)ない」を使って、自分の考えを伝える。	ワークシート 口頭発表
第5研修時	⑥「比べる」の表現について事前学習	○「～ほど～(くらい)」「～ほど～(は)ない」を使って、自分の考えを伝える。	ワークシート 口頭発表
第6研修時	⑦「比べる」の表現について事前学習	○「～ほど～(くらい)」「～ほど～(は)ない」を使って、自分の考えを伝える。	ワークシート 口頭発表

単元全体の流れを見通す

ICT 機器の活用

デジタル教科書の活用

ミライシード（学習支援ツール）の活用



オクリンクで
他者との比較



ムーブノートで関
連付けて考える



授業のポイントを拡大表示

Google の各種アプリの活用



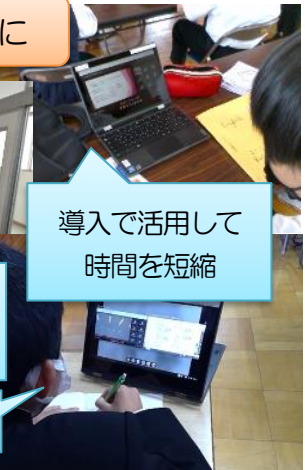
Jamboard を使っ
た話し合い活動



スプレッドシートに振
り返りを記入→見取り



大型提示装置に書き
込んで板書を精選



導入で活用して
時間を短縮

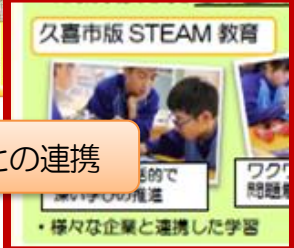
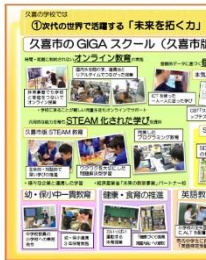
ICT 機器でより効率的に

オンライン授業に常時対応

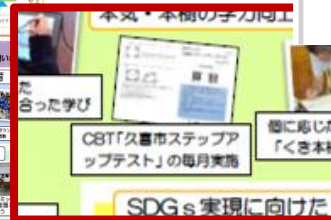
久喜市版未来の教室



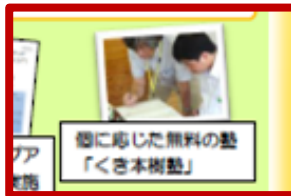
CBT による「久喜市ステップ アップテスト」の実施



様々な企業との連携

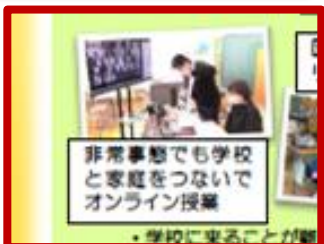


「くき本樹塾」の開設



端末を利用して解答、 結果も端末で確認

オンラインと対面の ハイブリッドな授業



成果と展望

- 「埼玉県学力学習状況調査」において、3年間の学力の伸びを1年次から比較してみると、3年次になる頃には全体の学力の伸びが上昇傾向という結果になった。また、質問紙調査においても高い値を示した。上記の取組を定着させてきたことが学力の向上につながったと考えることができる。
- 今後の展望として、それぞれが身に付けた知識を持ち寄り、新しいものを創り上げていくという「深い学び」の学習をより充実させていくことが、今後の先行き不透明な時代をたくましく生き抜くことができる生徒の育成につながると考える。